

# あかるい子保育園の すすむ道・めざすべきもの

## ●理念を掲げて

明るい子保育園が目指す理念に「支援第一主義」という言葉があります。それは、保育士としてプロとして、保護者や子ども達の良き理解者、サポーターとしての役割と担おうとする集団でありたいという思いからそう決められているのです。

## ●絵本との出会い

好きな絵本に「三本の木」という本があるので、その最後に「神様は時々私たちが描くよりももっとすばらしい形で叶えてくれます。それは世界一でいることよりずっとよいことでした。」という言葉です。

わたしはその絵本と出会ったときすごく心を打たれました。最後の「世界一でいることよりずっとよいこと……」の語句がいつも頭をよぎります。言い換えれば「オンラインワン」という意味に捉えられるようにも思います。世間ではオンラインワンの大切さについてもよく聞かれるからなのでしょうか……。

時を同じくしてよく考えていたことは「支援のあり方」でした。「サービスの追求?」「本当の支援って何?」とまあ考え出すときりがないものですが、保護者の人気を意識しない……といえはウソになりますし「一目置かれたい」その思いが無いわけでもありません。

まさに、保育の精神よりも野心が顔を除かせる度に支援第一主義の目指す本当の姿を模索し続けるのです。では、だれが一番をきめるのか……は、よく分からないところでもありません……。

全てを決めるのは親、利用者の評価!ということも言えるのですが、視点がどこにむけられているのか? 便利さのみへの追求であるならば、「私の問い」全ての解決の糸口ではないと思うのです。

今、保育界には保育指針の基で保育を確実に展開させゆくことが決められていますし、その中で保育所としての役割やとらえ方も変わってきました。それを踏まえながらしっかりと学び実践をしてゆこうと取り組んでいます。現実はまだまだほど遠いものでもありますが、各々の保育スタイルを持つ保育士がひとつになるためにどうするか……「支援」の考え方のひとつを見てもただ取り組む事のみが先行すると、大きなしっぺ返しを受けることになりかねません……。でも現場は常に動き続けており保護者の必要も痛いくらいに感じています。

## ●めざすべきもの

平成24年度より再度、理念構築のための検討会が始まりました。深く深く噛みしめながらの理念研修です。「親と子の為に」の前に、まず自分と向き合う作業を行っています。保育士同士の価値観の共有を図り、認識を深め、その中で気付く保育へのとらえ方や、自己受容⇨他者受容ということを学ぶのです……。

「支援」を理由に保育士自身が犠牲になつてはいけません。また「支援」という言葉を借りて勝ち負けの世界に走ることも目指したくありません……。

「世界一でいることよりずっとよいこと」は一体何か……。その答えをみんなで見つけているのです。

その答えを見出すことが、あかるい子保育園の目指すもの・進むべき道をさがす近道だと思ふのです。

決して、「世界一になるな……」とは言っていない。ただ、世界一になることが最大の目的でなければいいのです。

ゆつくりと、なお且つ着実に進んでいけばいいのです。そうすることで、必ず人を生かし、共に生きる支援へ近づくと思っています。みんなの想いが一つになるまで時間をかけて進んでいくのです。

